

事業実績書

令和7年度実績

1. 地域づくりの活動方針(テーマ)

今年度は、第4次陶地域づくり5ヵ年計画の3年目になり、中間の年を迎える。
令和5年度より計画した「笑顔でつながるふるさと陶」が計画通りに進んでいるか、
また、地域課題の解決に向けた取り組みがなされているか、振り返りの年でもあるため、
昨年までの地域行事の内容を確認しながら、今年度も積極的に地域づくりに取り組んでいく。

2. 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	笑顔でつながるまち 陶	
	事業名	運動会・ふれあいまつり	決算額 363,660円
②	視点	歳を重ねてもhappyなまち 陶	
	事業名	ふれあいウォーキング	決算額 8,160円
③	視点	誰もがつながり支えあうまち 陶	
	事業名	陶クリーン作戦	決算額 214,684円
④	視点	帰りたくなるまち 陶	
	事業名	文化財保護活動	決算額 23,591円
⑤	視点	帰りたくなるまち 陶	
	事業名	夏フェス	決算額 100,000円

3. 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

	検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①	「陶地区民運動会」は、昨年同様午前中開催で、二種目変更し実施した。「陶ふれあいまつり」は、地元音楽愛好家を主体に、小学校創立150周年記念事業とコラボし、大変盛り上がった。	◎
②	今年度、ふれあいウォーキングは、東コースの史跡をめぐるコースだったが、雨のためウォーキングは中止とした。しかしながら、各史跡については、講師の説明により座学で歴史を知ることができた。	△
③	第59、60、61回を迎えた陶クリーン作戦だが、熱中症が懸念される中、第59回は対策として、熱中症指数計の導入や、経口補水液を準備し、参加者241名で事故もなく実施出来た。	◎
④	例年通り、西陶子供会の子供と保護者、そして陶連合自治会の文教部会員で、国指定の陶陶窯跡周辺の清掃活動を実施し、生えたシダや、枯れ葉の除去を行ったが、毎年風化が進み、屋根瓦のズレも確認されるため、今後どのように残して行くかが、懸念材料である。	○
⑤	例年通り、若者を中心とした陶夏フェスを実施し、伊藤市長にも昨年同様子どもたちとのイベントに参加して頂き、昨年を上回る来場者で賑わった。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第4次陶地域づくり計画・陶地区福祉活動計画の3年目となり、5ヵ年計画の進捗を確認する年となった。
「陶夏フェス」は、地域内で今まで参加していない若者をスタッフに招いたり、スポーツを通じて地域外で参加した若者により、大盛況だった。
また、「陶ふれあいまつり」は、地元の音楽愛好家によるステージをメインにし、老若男女が大変盛り上がった。
陶中央部を清掃する年3回の「陶クリーン作戦」も、夏の暑い時期は、開始時間を早め、熱中症対策を講じて実施した。
今後もイベントや、陶クリーン作戦のような環境美化については、高齢化や担い手不足が問題となってくるが、都度工夫しながら、継続してゆく。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,193,927円								
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、費用弁償、事務費、通信費 (成果・評価) 年度途中で、山口県の最低賃金の改正により、事務局員の勤務時間の調整に苦慮した。 (今後に向けて) 各部会の活動費の見直しにより、協議会運営費とのバランスをとってゆく。 (費用明細) <table> <tr> <td>事務局長給与</td><td>1,814,500円</td></tr> <tr> <td>事務局員給与</td><td>1,934,033円</td></tr> <tr> <td>労働保険料</td><td>45,592円</td></tr> <tr> <td>事務費</td><td>399,802円</td></tr> </table>	事務局長給与	1,814,500円	事務局員給与	1,934,033円	労働保険料	45,592円	事務費	399,802円
事務局長給与	1,814,500円								
事務局員給与	1,934,033円								
労働保険料	45,592円								
事務費	399,802円								

(2) 地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	8,882円
事業概要	(実施内容) 陶の若者による、陶夏フェス、陶ふれあいまつりの企画会議に中学生参加。 (実施時期) 7月、8月、9月、10月、11月 (参加人数) 50名 (成果) 陶夏フェスは、陶在住の若者のみならず、スポーツ繋がりで隣の市からもフェスを盛り上げるための応援や、中学生のボランティアの手伝いで、盛大に盛り上がった。 (評価) 陶在住の新たな若者の発掘(中学生含む)に繋がった。 (今後に向けて) 今後も若者の得意な分野を吸い上げ、人材の発掘に努める。

事業名	広報活動の推進
事業費	753,705円
事業概要	(実施内容) ①広報紙「まるごと陶」を例年通り、毎月発行し、各戸配布及び、地方発送実施。 ②フェイスブック「まるごと陶」で情報発信継続。 (実施時期) ①、②共に令和7年4月～令和8年3月まで(No.162～No.173) (参加人数) ①毎月第2水曜日編集委員会(96人) (成果) ①広報紙「まるごと陶」は、地域のあらゆる方面からの掲載要望が多く、詳細な情報が分かりやすく掲載した。 (評価) ①紙面の構成を編集委員で工夫しているところが評価できる。 今年度公民館報コンクールで、優良賞を受賞した。 (今後に向けて) よりわかりやすい情報誌作成に努める。

事業名	ふれあい行事の開催
事業費	463,660円
事業概要	(実施内容) ①陶地区民運動会 ②陶夏フェス ③陶ふれあいまつり ④陶オリンピック ①陶地区民運動会は、競技を2種目変更したり、参加条件を緩和し、楽しく実施出来た。 ②昨年同様開始時間を2時間早め、子どもたちも楽しめるゲームを考案し実施した。 ③陶小学校創立150周年記念の鼓笛隊とコラボし、地元音楽愛好家のステージで盛り上がった。 ④球技大会の参加が少ないため、それに代わるものを検討した。 (成果) ①新しい競技の事前説明をすることにより、スムーズに実施出来た。 ②ゲームの種類を増やし、子どもたち間で大いに盛り上がった。 ③当時の鼓笛隊を再現し、地元の卒業生が懐かしんだ。 ④実行委員会を立ち上げる検討を実施した。 (評価) 地区民運動会は、競技内容の変更が高評価であり、陶夏フェスも例年通り、地区外の来場者が多かった。陶ふれあいまつりは、地元音楽愛好家のステージで盛り上がった。 (今後に向けて) いろいろなアイデアを模索し、地域全体で盛り上げる。

事業名	活動グループの育成
事業費	12,201円
事業概要	(実施内容) 地区民中心の活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援する。 (実施時期) ①4月～翌年3月 ②7月～11月 ③年6回 (参加人数) ①会員17人 ②隊員10人 ③会員9人 (成果) ①熱中症を避け、早朝より1回/週 野菜の植え付けから収穫までの作業を1年通して実施した。 ②今年度も、地域内の除草を中心に、延べ23名が活動に参加した。 ③「陶の行事&四季」の写真コンテストを実施し、24の作品の中から良いと思うものを選び、投票し表彰した。 (評価) ①野菜は、17種類に及び、自分たちで収穫し、陶ふれあいまつりの豚汁の具材にも提供した。 ②陶中央公園を中心に、中学生の通学路を除草することで、陶クリーン作戦の負担軽減に努めた。 ③毎年、写真の画質が向上してきた。 (今後に向けて) ①農園の参加者を募集し、今後も継続する。 ②作業の見直しを検討する。 ③参加者を募集し、陶の魅力を発信する。

(3) 地域福祉

事業名	子育て支援の推進
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) キッズ陶来楽夢(小学生手作り教室) (実施時期) 5月、7月、9月、11月、1月、3月 (成果) 3, 4, 5, 6年生を対象に、放課後、調理、手芸、クリスマス会を実施した。 (今後に向けて) 調理や手芸は、趣向を凝らし、進める。

事業名	小規模福祉の輪づくり
事業費	15,000円
事業概要	(実施内容) 『認知症を正しく理解して、住民同士の交流をはかる』 (実施時期) 毎月第4木曜日 (成果) 講師を招き、ペーパークラフト・紙芝居・体操・かるた・コーラスを実施した。 参加者からは、「皆に会えるこの場所があつてうれしい」の声を頂いている。 (今後に向けて) 今後も、コーヒー・お茶・お菓子を用意し、参加者を募る。

事業名	三世代交流の推進
事業費	64,822円
事業概要	(実施内容) ①小学校で田植え体験。 ②カルタ大会 ③小学校で稲刈り体験。 ④もちつき体験。 (実施時期) ①6月13日 ②11月8日 ③9月30日 ④1月25日 (成果) ①昨年同様、小学5年生が「返し定規」を使い田植えを行った。 ②陶小創立150周年記念式典後に、地域の人と小学生でカルタ大会を実施した。 ③小学5年生が、手で刈る体験と、コンバインに乗車する体験と2種類の稲刈りを体験した。 ④小学生と保護者、地元の方でもちつき体験を実施した。 (効果) 今年度は、陶小学校創立150周年に合わせ、刈り取ったもち米で、桜餅やおはぎを、ふるまい高評価だった。 (今後に向けて) 今後も、田植え・稲刈り・もちつきを実施し、昔の農業体験を伝える。

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	14,055円
事業概要	(実施内容) 地域福祉講座の開催。 (実施時期) 5月21日 (参加人数) 42名 (成果) 講師を招き、「話の聞き方講座～つながる心のケア～」のお話に続いて、体重・体脂肪率・筋肉量・血管年齢・肌年齢をチェックした。 (今後に向けて) 自分の状態を知る意味でも、今後も福祉講座を開催する。

事業名	高齢者のサポート
事業費	168,948円
事業概要	(実施内容) ①敬老祝賀会の実施。 ②西京だいがくの開催支援。 ③フォークダンス同好会の支援。 (実施時期) ①9月14日 ②8月24日 ③1回/2ヵ月 (参加人数) ①155名 ②70名 ③60名 (成果) ①今年度の敬老祝賀会は、陶地域交流センターで、午前中開催とした。 ②山口南警察署による特殊詐欺防止や、日赤看護師による講話や、ギター演奏と共に、歌を歌い楽しんだ。 ③今年度も、練習の成果を、陶ふれあいまつりで披露した。 (今後に向けて) 今後も、高齢者のイベントのサポートを継続する。

事業名	交通弱者支援事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 高齢で、車の運転ができないかたが、安心して病院や、買い物が出来る方法を検討する。 (実施時期) 1回/6ヶ月 (評価) 地区内で、4社の移動販売による買い物の代替を継続実施したが、病院に行く手段は家族の自家用車か、タクシーによる手段に頼るしかない。 (今後に向けて) 今後、自家用車以外の、多様な移動手段等を検討してゆく。

事業名	健康管理活動・保健講座
事業費	8,160円
事業概要	(実施内容)①地域内東側の約6kmの史跡巡りで体力の向上(ふれあいウォーキングin SUE)。 ②百歳体操・介護講座の支援。 (実施時期)①10/25 ②毎週金曜日の4回/月 (参加人数)①24名 ②40名/月 (成果)①雨天のため、ふれあいウォーキングは中止したが、講師にて史跡の説明実施。 ②百歳体操に、男性の参加者が減少傾向にある。 (評価)①改めて、史跡の歴史について学び、勉強になった。 ②週一の百歳体操で、健康を維持できる。 (今後に向けて)男性の勧誘を促進し、今後もウォーキング・百歳体操を継続してゆく。

(4)安心・安全

事業名	反射鏡設置・修復
事業費	0円
事業概要	(実施内容)反射鏡の清掃・点検 (実施時期) 4月14日、9月 21日 (成果) 交通安全対策協議会員で、例年通り地区内の反射鏡の清掃及び、曇り・破損の点検を9月に実施した。4月は雨のため中止とした。 (評価) 昨年1件の破損を市に報告した所、改善されており、今年度新たに1件ほど破損した反射鏡を市に報告した。 (今後に向けて) 今回、反射鏡の支柱で、腐食し倒壊の恐れのあるものは、市に連絡し早急に対処して頂いた。 今後も、清掃・点検を通して、不具合による事故を防止する。

事業名	空き家・空地の利活用
事業費	0円
事業概要	(事業内容) 陶地域の空き家・空き地を有効活用する。 (成果) 昨年同様、空き家の調査に留まった。 (今後に向けて) 史跡調査の終わった土地の利用法を検討する。

事業名	自主防災活動の推進
事業費	47,121円
事業概要	(実施内容)①小学校と合同で避難訓練。②炊き出し訓練。③土嚢づくりの実施。④防災講座の実施。 (実施時期)①11/13 ②11/16 ③6/1 ④7/5 (成果)①児童の避難経路の確認をした。②陶ふれあいまつりで例年通り炊き出し訓練を実施した。 ③消防車庫東に土嚢30袋作成した。④山本晴彦名誉教授を招き、防災講座を実施した。 (今後に向けて)今年度、防災講座を実施したため、これを各地区に活かし、防災に努める。

事業名	要援護者の支援
事業費	0円
事業概要	(実施内容)「避難マイプランマップ」作成のため、市、民児協と協力し、情報を収集する。 (今後に向けて)各自治会での連絡網・避難場所を確立し、「避難マイプランマップ」の作成活用を目指す。

事業名	交通マナーアップin SUE
事業費	56,900円
事業概要	(実施内容)例年通り、交通安全対策協議会委員と安全部会委員で、交通安全運動期間中 安全旗の掲揚、交通安全立哨の実施。 (実施時期) 4月、7月、9月、11月、12月、1月 (参加人数) 75名 (成果)今年度も交通マナーアップinSUEの旗を新たに購入し、各地区の古い旗と交換した。 (今後に向けて)高齢者の交通事故が多いため、交通立哨と、安全旗の更新や啓発活動を推進する。

(5)環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3,556,600円
事業概要	(実施内容)法定外公共物等の整備事業実施。 (実施時期)令和7年10月～令和8年3月 (成果)水路の改修工事4件、里道の樹木の伐採1件を実施した。 (効果)樹木伐採は、近隣建物への影響を緩和し、ベンチフリュームで水路の改修に努めた。 (今後に向けて) 今後も、地域内の環境整備に努める。

事業名	陶クリーン作戦 (道路環境美化)
事業費	214,684円
事業概要	(行事内容)例年通り、地区内の県道、市道周辺や通学路の環境美化、陶中央公園の清掃を実施した。 (実施時期)①7月 ②11月 ③翌年2月 (参加人数)①241人 ②216人 ③76人 (成果)今年度、背負の刈り払機を追加し、作業が短時間で楽に出来るようになった。 (評価)草刈り時の飛び石防止のため、安全網を購入し、事故防止に努めることができた。 (今後に向けて)参加者の高齢化が進むため、草刈りの範囲を見直す。

(6)地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	382,351円
事業概要	(実施内容)①陶地区の良さを写真で紹介する「陶の行事&四季」写真コンテストの実施。 ②陶地域交流センター前の、陶地域案内板を作成。 (実施時期)①11月16日 ②8月18日 (参加人数)①24人 ②15人 (成果)①24点の作品を、審査し表彰した。②昨年考案したデザインをもとに案内板を新規作成した。 (評価)①年々作品の内容が向上している。②陶地域内の名所(史跡)が、明確になった。 (今後に向けて)①今後も、陶地域の良いところを写真で紹介する。

事業名	陶ふるさと大学(史楽会)
事業費	107,106円
事業概要	(実施内容)①盆踊り「白河踊り」を理解する講演会。 ②「陶氏ゆかりの地を訪ねて」研修旅行。 (実施時期)①8月2日 ②10月22日 (参加人数)①80人 ②20人 (成果)①福島県白河市の盆踊りが何故山口県各地に伝わったか理解できた。 ②富田若山城跡地・勝栄寺・龍文寺・陶氏居館址地を訪れた。 (評価)①白川踊りの起源が戦友の起用のためとわかり、大変勉強になった。 ②陶晴賢をはじめ、多くの陶氏一族ゆかりの地を巡り、勉強になった。 (今後に向けて)今後も、地元の文化財・史跡を巡る勉強会を進めて行く。

事業名	文化財保護活動
事業費	23,591円
事業概要	(実施内容) 陶陶窯跡周辺の清掃を地元地区の子供たちと文教部会員で実施。 (実施時期) 1月31日 (参加人数) 子供5名 大人13名 (成果) 国指定の陶陶窯跡周辺を、例年通り地元子供会の子供たちとその保護者、文教部会員で清掃を実施し、維持管理に努めた。 (評価) 覆屋の瓦がずれる等の劣化が進むが、周辺の雑草は毎年除草するため少なくなっている。 (今後に向けて) 年々異常気象が厳しくなり、劣化が進むが、維持管理に努める。

事業名	陶ブランドの立ち上げ
事業費	37,920円
事業概要	(実施内容) ①新たに陶ブランドの饅頭を試作販売した。 ②すえっきいポロシャツの販売継続。 ③すえっきいのブランド化 (実施時期) ①11月16日 ②7月～11月 ③翌年1月 (参加人数) ① 4人 ② 20人 ③ 12人 (成果) ①試作を繰り返し、陶ふれあいまつりで販売した。また、現在も新作検討中。 ②31枚販売。 ③LINEスタンプ作成に向けて検討実施。 (評価) ①完売した。②昨年より11枚多く販売した。③今年度は立案に留めた。 (今後に向けて) 饅頭の販促や、すえっきいのLINEスタンプを進める。

事業名	地元文化育成
事業費	25,000円
事業概要	(実施内容) 地元の音楽愛好家や、詩吟・カラオケを最新の音響で盛り上げた。 (実施時期) 11月16日 (参加人数) 30人 (成果) 地元の新たな音楽愛好家がステージに上がり、例年以上に陶ふれあいまつりを盛り上げた。 (評価) 詩吟・カラオケ・フォーク・ロックと幅広いジャンルを音響で魅了した。 (今後に向けて) 今後も、最新の音響で、地元のイベントを盛り上げてゆく。

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) 陶小学校コミュニティースクール活動を支援した。 (実施時期) 4月～翌年3月 (成果) 目指す学校像・児童像・教職員像を明確にし、地域一体となって取り組んだ。 (評価) あいさつや、コミュニケーション力を付けようとする努力が熟議を通してうかがえた。 (今後に向けて) 今年度は、校長・教頭・教職員が代わった年で、意見の相違があったが、地域性も踏まえて、支援してゆく。